

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

# CERESPO NEWS

vol. 106 August 2018

セレスポ  
セレスポ・ニュース  
平成 30年 8月発行  
第 106号

ランナーズ24時間リレーマラソン in 舞洲スポーツアイランド

## 24時間を“みんな”で走りきる 達成感と感動



2018年度  
教員の民間企業研修 レポート





ランナーズ24時間リレーマラソン in 舞洲スポーツアイランド

# ランナーも応援も運営も 一体になれる大会



毎年、大阪と山梨で行われている「ランナーズ24時間リレーマラソン」が今年も開催されました！全国各地からランナーチームが大阪の舞洲、山梨の富士北麓に集結。両会場とも30℃越えの中、24時間を走り抜けました。今回は同マラソンの主催者で大阪の舞洲スポーツアイランド大会を担当されている株式会社アールビーズの芹ヶ野裕史さんに本イベントの歴史や魅力をうかがいました。

「一本大会が始まったきっかけを教えてくださいいただけますか？」

**芹ヶ野さん**：この大会がスタートした22年前、1990年代はランナー向けのイベントが少なかったんです。「ランナーが楽しめる新しく面白いアイデアはないか？」と考えて、出てきたのが「リレー形式で24時間走り続けるマラソンイベント」でした。それがこの「ランナーズ24時間リレーマ

ラソン」です。

会場はここ舞洲のほか、富士北麓でも同日開催しており、約3,000名のランナーと応援のかたを含めると合計約6,000名、222チームが参加してくれています。去年からオートキャンプ場の利用も始め、大変好評をいただいております。すぐに予約で埋まってしまう。

毎年参加してくれるチーム同士が顔なじみということも多くて「今年も一緒に走りましょう！」と励ましあっています。そんな一体感があるのも本イベントの魅力。私たちも毎年、馴染みのかたたちとお会いできると嬉しくなります。

「一本大会で気をつけていることはなんですか？」

**芹ヶ野さん**：開催が7月なので、天候とランナーの体調には気をつけています。梅雨の時期にかぶることもありますし、台風が来ることもあります。気温も高いため、

ランナーに最後まで楽しんでいただけるように考えています。今年は、大阪医療福祉専門学校さまに協力いただき、救護所とマッサージブースを設けました。

こうした大会を運営するにあたり、私1人で会場全体を完璧に把握することは簡単ではありません。でも、参加者や周辺住民のかたなど、関わってくれる人たち全員に喜んでいただきたい。難しいから諦めるのではなく「自分が何人もいる」という気持ちで各運営メンバーを信じて任せきることが大事だと思っています。

これはリレーマラソンと同じですね。24時間をチーム“みんな”で走りきる。大会を運営する私たちもしっかりたすきをつないで、24時間をランナーと一緒に走り抜ける。みなさんのランニングライフをより良いものにするため、達成感と感動を持ち帰っていただくために、これからもいろいろ工夫していきます。



株式会社アールビーズ  
SPD 西日本グループ 大阪事業所  
芹ヶ野 裕史さん





特別協賛のオートボックスはピットブースを設置。ミストシャワーとオレンジジュースでランナーを応援していました！



特設ステージでは、24時間リレーマラソンを盛り上げるイベントが盛りだくさん！



## EventData

- オートボックスPresents  
第22回 ランナーズ24時間リレーマラソン  
in舞洲スポーツアイランド 2018
- 2018年7月14～15日
- 舞洲スポーツアイランド(大阪府大阪市)
- 主催：一般財団法人アールビーズスポーツ財団



## REPORT 株式会社セレスポ 大阪支店 鈴木 克茂(すずき かつしげ)

### 主催者と想いを共有し新しいことにも挑戦できる

本大会は主に会場設営でお手伝いさせていただいています。シャワーや照明、イベント用の音響設備、テントなどの準備・設置を担当しました。夜間、ランナーが安心して走れるよう照明設備には特に気をつけています。暗くなつてから点かないなど一時的にでも暗くなることも起こさないようにしました。

この仕事の魅力は大きく二つあります。「やったことがない」ことに触られること。本大会には長らく関わらせていただいているのですが、毎年改善点も出てきますし「ランナーのためにこういう設備を用意したらどうか」とアイデアも出てき

ます。それらをどうやって実現できるかを考え、いままで踏み込んだことがないことなら、新しい事業にすることもできます。

もうひとつは、主催者と想いを共有できること。目的がどこにあるのか、ゴールが明確でないイベントを作っても意味がありません。参加者に「楽しかった!」「面白かった!」と思ってもらえないんです。だから、本大会でも、芹ヶ野さんと一緒にランナーと向き合つて、準備を進めてきました。

そんな仕事なので「これは嬉しかった!」と思うエピソードもたくさんあります。本大会でも、



同じ仲間として考えてもらえて、年々任せてもらえる範囲を広げていただいています。そのような関係性が築けたのがとても嬉しい。リピーターも多い大会なので、もっといろんな人に魅力が伝わり、新たな「リピーター」になってもらえるようお手伝いさせていただきたいです。





# 2018年度 教員の民間企業研修 レポート

セレスポは、2018年7月25日～27日の3日間『教員の民間企業研修』を実施し、都内の小・中学校から新任教員約30名に参加いただきました。この研修は一般財団法人経済広報センターが主催し“教育界と経済界との対話促進活動の一環”として行われています。

研修では、企業活動の考え方や取り組みの紹介のほか、グループワークやセレスポが力を入れているインクルーシブな社会に向けて考えるきっかけとして、パラリンピアンである永尾由美さんを講師に迎え、車いす・パラスポーツ体験会も実施。自分自身が体験したことで得られた気づきをどうやって子どもたちに伝えていくかについて考え、意見交換をおこないました。

「今後の学校教育に活用したい」という声を多くいただくことができ、子どもたちへの教育や学校運営の充実のために、役に立つものになることを期待しています。

セレスポでは、今後もさまざまな機関と連携し、積極的なCSR活動を推進していきます。



最終日には、研修で気付いた課題に対する解決方法をディスカッションして各グループ毎にまとめました。



セレスポ社員との意見交換



車いす体験



ポートボール



ゴールボール



パラリンピアン  
永尾由美さん



**発行** 発行日：平成30年8月25日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 (本社)  
TEL : 03(5974)1111 FAX : 03(5394)7651  
<http://www.cerespo.co.jp/>

編集 山川 譲 (yawm)  
記事 コーポレートデザイン室  
デザイン 山本制作所  
CERESPO NEWSに関するお問い合わせは  
株式会社セレスポ コーポレートデザイン室(cd@cerespo.co.jp)まで

編集後記

今回特集した24時間リレーマラソン。走ることが好きなたにはたまらないイベントですね。1位の優勝チームの総走行距離は452.2kmです。調べたところ、東京から姫路の直線距離が469km。驚きますね…。1つのゴールに向かって、みんなでたすきをつなぎ続ける。普通のマラソンとは少し異なるチーム競技ならではの魅力を感じることが出来ますね。細かいルールは各大会によって異なりますが、自由度も高く、マラソン初心者からベテランランナーのかたまでも、楽しんで参加することができます。全国各地でさまざまな大会が開催されていますので、興味をもったかたはぜひ友達や家族、職場の同僚を誘ってチャレンジしてみたいかがでしょうか。